大阪教育大学　グローバルセンター発行「オーバー・ザ・レインボー」　2026年2月発行　https://ger.osaka-kyoiku.ac.jp/

OVER the RAINBOW

vol.35

巻頭言

大阪教育大学　グローバルセンター　副センター長　橋本 健一

『思考の果てのSimple』

TOPICS

■スタッフ紹介
■新任教員の言葉
■留学生のイベント・授業紹介
日本文化研修　― 京都 太秦映画村・和菓子作り体験 ―
シニア自然大学校との国際交流会
関西発見プロジェクトⅡ
■留学体験談
■外国語学習支援ルーム（GLC）の英語資格試験支援
■2025年度前期・後期修了留学生メッセージ
■グローバルセンターニュース&More!
第16回グローバルセンター国際シンポジウムを開催
Visitors from the USA
留学生支援のお願い

2025年11月　日本文化研修（京都・太秦映画村）にて

巻頭言

Message

大阪教育大学　グローバルセンター　副センター長　橋本（ハシモト）　健一（ケンイチ）

『思考の果てのSimple』

いきなり個人的な話で恐縮ですが、私はどうも「考えすぎる」傾向にあるようです。例えば担当している授業の内容を考えている際、「この活動をここに配置して大丈夫かな？繋がりが悪くないかな？みんなわかってくれるかな？」など、結構ギリギリまで悩んでいることが多いです。会議などで物事を決める際にも、「本当にこれでいいのかな？」「こうしたほうがいいんじゃないかな？」という疑問が次から次へと湧いてきて、なかなか決められないということがよくあります（ご一緒の皆さま、ごめんなさい）。以前からそういう傾向はあったのですが、ここ3～4年でしょうか、特にそういう思考を巡らせるということの頻度・深さが増しているように認識しています。大学の中でそういう立場に就くようになったからか、あるいはシンプルに年齢のせいか、いろいろ考えられますが、自分としてはグローバルセンターの業務で様々な国の人とやり取りをする中で、お互いを理解する・理解してもらうという経験が増えたことが大きな原因になっているように思います。ここ数年で行った国（主にアジア・オセアニア）を思い返してみた時、目に見える、耳に聞こえる表面的なところでは、それぞれの国を比較してもそんなに大きな違いを感じていません。しかし実際のやり取りではあまり意識していないところで「この考え方は似てるな」とか「この部分は相互に理解するのが難しそうだな」など様々な違いを感じることがあって、そこでコミュニケーションを成立させるために自分の中でも微調整を繰り返しているように思います。そうしていく中でいわゆる「批判的思考力」が向上しているのかな、と考えます（そう、私もまだまだ学びの途中なのです）。

大阪教育大学グローバルセンターでは学生の皆さんの海外留学（交換留学・短期研修）の支援や、海外からの留学生の本学での学びの支援を行っています。グローバルセンターの目的、あるいは海外留学の目的を考えた時、語学力の向上というのはよく言われるところですが、海外・世界との接触というのはことばのスキルだけにとどまるものではありません…というのはこれを読んでいらっしゃる方ならすでにおわかりですよね。改めて今回このように書かせていただいたのは、経験を通してそんなシンプルなことを再確認したこと、そしてもっと多くの学生・教職員の皆さんと、様々な「世界」を体験したいなと思ったからです。ことば・経験・価値観を共有して、人生をより豊かなものにしていきましょう。

スタッフ紹介

2025年4月より国際課長に着任した中野と申します。

3月までは奈良先端科学技術大学院大学で勤務しており、そこでも留学生・国際交流担当の仕事に延べ10年以上にわたって携わってきました。これまで事務職員としてさまざまな業務に従事してきましたが、留学生や日本人学生の海外留学をサポートする国際課の仕事が一番やりがいのある仕事だと思っています。大阪教育大学と言う新たな職場で心機一転頑張りますのでよろしくお願いいたします。

国際課長　中野（ナカノ）　正（タダシ）

2025年5月より、国際交流係に配属されました小川志穂と申します。

過去に留学をしましたが、留学先大学の教職員に温かく指導・支援いただいた経験から、いつか自身も留学を志す方を応援したいという希望がありました。今回関係する業務に携わる機会を得られ、とてもうれしく思います。

学生の皆さんが計画的に、安全に、そして実りのある留学生活を送れるよう、精一杯サポートしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

国際課国際交流係　小川（オガワ）　志穂（シホ）

新任教員の言葉

New teacher's voice

多文化教育系　英語教育部門
（グローバルセンター　語学教育部門）

特任准教授
柴田　直哉（シバタ　ナオヤ）

2025年4月より、本学多文化教育系英語教育部門に着任しました柴田直哉です。主に第二言語ライティング指導やテーマ型内容中心教授法を専門に研究調査を行なっています。特に生成AIが発達してきたことから、ライティング活動の在り方についてより一層考える必要がでてきているように日々感じています。私は大学生時代に海外研修としてBoston University（アメリカ）、Australian Catholic University(オーストラリア)、そして長期交換留学としてOxford Brookes University（イギリス）で勉強する機会を得ました。日本の大学でも単発的なレポート課題は多くありましたが、海外での、特にイギリスでのライティング課題の過酷さには度肝を抜かれたことを今でも覚えています。同時に、ライティング力の重要性を強く感じ、それが今でも続いています。ライティングは書き手の個性や文化を表すという特徴が現れるだけではなく、読み手に分かってほしいという願いが含まれています。そしてそれは異文化コミュニケーションにおいて必要不可欠なことです。グローバルセンターでの支援を通し、皆さんのライティング力や異文化コミュニケーション力の向上に貢献できるように努めてまいります。よろしくお願い致します。

多文化教育系　グローバル教育部門
（グローバルセンター　国際教育部門）

特任講師
小坂　拓海（コサカ　タクミ）

2025年4月より、本学 多文化教育系教育協働学科 英語コミュニケーションコース／国際協働英語コースの特任講師として着任しました、小坂拓海です。主に、人はどのように言語（特に第二言語）を理解し、習得していくのかを探る心理言語学的研究に取り組んでいます。大学から大学院にかけて、アメリカとオーストラリアで合計8年ほど生活していましたが、今でも英語は自分にとって「外国語」であると日々実感しており、みなさんと同じように英語学習を続けています。また短い期間ではありますが、京都府の中学校で英語教員として数年間勤務した経験もあり、今後、英語教員を目指す学生のみなさんのお力になれるよう努めてまいります。最後に、大学教員としてはまだ経験が浅いため、学生のみなさんと共に切磋琢磨しながら、英語学習や専門分野の研究に取り組んでいきたいと考えています。授業でお会いした際は、どうぞよろしくお願い致します。

多文化教育系　グローバル教育部門
（グローバルセンター　留学生教育部門）

特任講師
辻本　桜子（ツジモト　サクラコ）

2025年4月からグローバルセンターの一員になりました、辻本です。専門は日本語教育学、第二言語習得研究で、特に中間言語語用論という、日本語学習者と日本語母語話者の発話行為（依頼、断り、謝罪など）の比較に関心があります。それから、多文化共生の観点から「やさしい日本語」の普及と研究活動にも取り組んでいます。本学着任前には、専門学校、短大、私立大学で留学生に日本語を教えてきました。これまでに教えた学生の出身地を数えると、アジア12ヶ国、北米２ヶ国、欧州4ヶ国、オセアニア3ヶ国、アフリカ3ヶ国、中南米と中東、各1ヶ国の計26ヶ国になります。大人になると知識と経験が増えて、残念ながら子ども時代のように未知のことに本気で驚いたり、本気でワクワクしたりすることが減って来ると思います。だからこそ、時々、海外へ行くと、刺激をいっぱい受けてワクワクするのだと思います。でも、私は海外へ行かずとも日々教室で学生たちから未知のことを教えてもらい、驚き、ワクワクし、「世界は広い」と実感しています。本学では、22ヶ国、236名の留学生が学んでいます（2025年5月現在）。ぜひ、留学生を見たら話しかけて、小さな異文化交流をしてみてくださいね。

留学生のイベント・授業紹介

日本文化研修 ー 京都太秦映画村・和菓子作り体験 ー

11月29日に日本文化研修を実施し、留学生とチューターである日本人学生44名が参加しました。はじめに京都の「あずきの里」を訪れ、和菓子作りを体験しました。和菓子職人から丁寧なレクチャーを受けながら、桔梗・菊・椛をかたどった練り切りを制作し、四季を表現する色彩や形の意味など、日本独自の美意識に触れる貴重な時間となりました。生地の扱い方や成形の難しさを実感しつつ、完成した和菓子を抹茶とともに味わい、伝統文化の奥深さを改めて体感しました。

続いて訪れた東映太秦映画村では、昼食に和食弁当をいただき、地域の食文化を堪能しました。自由行動では、時代劇のオープンセットとして知られる江戸の町並みを散策し、まるでドラマの世界に入り込んだような雰囲気を楽しみました。忍者ショーやチャンバラショー、からくり屋敷、おばけ屋敷、立体迷路など、映画村ならではの多彩なアトラクションを通して、参加者は日本の歴史や娯楽文化に深く触れることができました。

参加した留学生からは、「実際に和菓子を自分の手で作ることで、日本の四季や美意識を身をもって理解できました」「日本ならではのエンターテインメントを楽しみながら、友だちとの距離も縮まりました」といった感想が寄せられました。1日を通して日本文化への理解が深まるとともに、学生同士の交流を促進する有意義な研修となりました。

シニア自然大学校との国際交流会

2025年12月3日、シニア自然大学校の講座生の皆さんと本学の留学生間での交流を柏原キャンパスにて行いました。

午前の部では、約60名の講座生の皆さんに対して、留学生から講演を実施しました。登壇者は、インドネシアから2025年10月に来日した日本語・日本文化研修留学生のレスタリ サニ イルマさんです。「Wonderful Indonesia：多様性が生み出す魅力の国」というテーマで、インドネシアの紹介を行いました。インドネシアの現在の生活や、結婚式に関わる文化、伝統的な芸術や有名な観光地などについて、幅広く紹介しました。講座生とのQ&Aタイムも大いに盛り上がりました。

また、午後の部には12名の留学生が参加して、講座生と「お正月を楽しもう」というテーマのもと、ゴム鉄砲や習字、花札や百人一首、茶道やけん玉などのアクティビティを楽しみながら交流しました。

関西発見プロジェクトⅡ

「関西発見プロジェクトII」では、担当教員が交代で大阪の文化・社会・歴史に関する講義や実地学習、日本の伝統生活文化の体験を行っています。西川章江准教授の担当回では、和菓子をテーマに、その歴史・種類・文化的意味を学び、日本人学生と協働して調理体験を行いました。今年度の実習では「わらび餅」「みたらし白玉だんご」「草だんご」を作りました。わらび粉（さつまいも澱粉）、白玉粉（もち米）、上新粉（うるち米）を使い分けることで、同じ"餅・団子"でも粉の種類によって食感が大きく変わることを体験的に理解できました。

【留学生の感想】

「普段甘い物が本当に苦手なんですが、食べてみると意外とそんなに甘くないなと気づきました。その中で、わらび餅が一番好きです。味はちょうど甘くて、ふわふわと柔らかくて、水みたいに冷たく感じられます。また、餅の上にきなこをまぶしているから、たくさん食べても大丈夫です。みたらし白玉団子の混ぜ合わせたしょうゆもおいしかったです。草団子とこしあんを一緒に食べてみるといいコンビだと思います。煎茶がいい匂いをし、こしあんの甘さをちょうどいい味まで抑えてくれるので、後味がさっぱりしました。煎茶を飲みながら、実の店みたいな雰囲気で皆さんと一緒に話しました。とても楽しかったです。」

「和菓子作りを体験しました。どれも米粉から作られているお菓子ですが、食感は大きく異なり、使われている米粉もそれぞれ違いました。わらび餅はとてもやわらかい食感で、煮るときの変化も面白かったです。最初は白いどろっとした状態なのに、加熱しているうちに急に透明になりました。」

「わらび餅の食感は少し柔らかく、きな粉と黒蜜をかけることで甘い香りがより引き立ちます。みたらし団子はモチモチしていますが、生地そのものにはあまり味がありません。作ったタレは美味しかったものの、少し塩味が強く、私には慣れない味でした。そのため、タレの代わりにあんこと一緒に食べました。草団子の食感は少し硬く、作り方に誤りがあったのではないかと思われます。味は草の香りが強く、私には少し分かりにくい風味でした。草の味がするように感じました。もなかはサクサクしていて、甘くて美味しかったです。煎茶と一緒に食べると、とてもよく合うと思います。」

みんなでつくった和菓子

留学体験談

教育学部教育協働学科 グローバル教育専攻
英語コミュニケーションコース
村上 里桜（ムラカミ リオ）

私のスウェーデン留学の目的の一つに「スウェーデンの外国語の授業を生で見てみたい」というものがありました。「なぜスウェーデンの人は英語を流暢に話せるのか。」「様々な文化的背景が異なる人々が混在しているスウェーデン社会において、教育現場で外国語はどのように扱われているのか。」そのような疑問を抱えて日本を出発しました。現地では驚くことに、近くの公立高校で外国語の教科の一つとして「日本語」があり、10か月間の留学生活を通して、毎週日本語クラスに参加させていただきました。他にもありがたいことに、小学校から高校までいろいろな学校でたくさん見学をさせていただきました。授業を見学するだけでなく、生徒たちと交流したり、教育について先生や友人と議論したりする中で、本当に多くの発見がありました。

勇気を出して自分から一歩踏み出したことで得られた経験や学びの積み重ねは、私に挑戦することへの自信を与えてくれました。さらに、これからも繋がっていたいと思える人との出会いにもたくさん恵まれ、「思い切って来てよかった」と心から思える、忘れられない留学になりました。

写真は、町の湖が一面凍り、その上を歩くという、人生で初めての経験をしたときの写真です。

教育学部学校教育教員養成課程
小中教育専攻　英語教育コース
井上 夏希（イノウエ ナツキ）

私のスウェーデン交換留学は、これまで別世界だったことを日々実体験することができました。ムースという動物を見たことや夜11時でも日が沈まない体験は特に大きな衝撃として心に残っています。

自然豊かな環境で、現地の家族とキノコや木の実を摘んだり、森を遊び場としたりして楽しい時間を過ごしました。また現地の子どもは自然の中で生き抜く力を身につけるため、学校や親から火の起こし方や地図の読み方を習います。こうした学びは日本には見られないもので、環境の違いが反映されていると感じました。

リンネ大学は国際色豊かな大学で、世界各国からの多くの留学生と交流することができました。8階建ての学生寮では12か国出身60人の学生と共同生活を送り、英語力の向上に加えて異文化理解を行えました。

JASSOプログラムでは、スウェーデンは移民にルーツを持つ人が実際多く地域で支える環境があることを学びました。現地の3つの学校訪問や学生インタビュー、地域のクリニック訪問を行い、言語や文化の違いに対する様々な取り組みが日常の一部としてあることを感じました。こうした背景には国民の関心の高さがあり、日本でも人々の意識をより高める必要があると考えました。

外国語学習支援ルーム（GLC）の英語資格試験支援

グローバルセンターの外国語学習支援ルーム（Global Learning Community: GLC）では、語学学習に関する様々な支援を行っていますが、その一つとして英語資格試験対策に力を入れています。

柏原・天王寺の両キャンパスのルームでは、年間を通じ、英検、TOEIC®、TOEFL®、IETLS™の関連書籍の貸出を行ったり、英語母語話者教員との1-on-1レッスンプログラムにおいてライティングやスピーキングの個人指導、さらに、日本人英語教員による学習方法の相談の機会を提供しています。

とりわけ、本学では以前より、小学校教員を目指す学生には卒業までに英検2級の取得、中学・高校の英語教員を目指す学生には英検準1級取得を推奨しているため、教員志望者向け検定料割引制度について、全1、2回生の必修の英語授業、小学校英語教育の授業、英語教員養成コースにおいて、担当教員と連携して周知を行い、受験を促しました。

さらには、希望者に向けたTOEIC IPテスト（団体受験制度）の柏原キャンパスでの実施、主に留学を志望する学生へのIELTS説明会など、学生がそれぞれの目標に向かって積極的に挑戦できるような機会を設けています。

このように、グローバルセンター語学教育部門は、GLCの運営を通して、正課授業外でも語学学習に取り組める環境を整えており、今後も幅広く様々な支援を行っていきたいと考えています。

2025年度前期GLCイベントポスター ▶

2025年度 留学生メッセージ

特別聴講学生（前期修了）

氏名 トーマス ブンナポット
出身 タイ

いろいろな場所に行って、いっぱいなんと出会って、忘れられない楽しい思いになりました。

氏名 ナムーン チャンダニー
出身 タイ

新しい文化に触れ、たくさんの友達と出会い、自分らしく成長できました。

氏名 テヴナール・オリヴァン
出身 フランス

大阪教育大学の留学はとても充実した一年でした。本当に感謝しかたりません。

氏名 ルシャン アレクサンドル
出身 フランス

色々な人と出会って、日本語を話す機会も多かったため、実力も大いに伸びました。とてもおもしろい経験でした

氏名 シャ ライカン
出身 台湾

これは人生で初めて、こんなに長く日本に滞在した経験で、たっぷりと時間を使って、日本の文化や各地の観光を体験することができました。まだ行きたい場所もたくさんあるし、もっとたくさんの日本人と出会ってみたいと考えています。唯一の心残りは、日本人の友達ができなかったことかもしれませんが、それでもこの思い出には感謝しています。

氏名 ワン ヨンウェイ
出身 台湾

夢みたいな一年、素晴らしい仲間、充実した生活、忘れなくない。

氏名 LUU NGOC LAN
出身 ベトナム

日本での留学生活はとても楽しく、素晴らしい思い出がたくさんできました。先生方はいつも優しく、温かく見守ってくださり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この経験は一生の宝物です。心からありがとうございました。

氏名 モウユン
出身 台湾

柏原景住民へ：
山のぼり
がんばって
ください！

氏名 CHANG TING YU
出身 Taiwan

この一年間の留学を通して、私は日本多くの文化に触れることができました。授業だけでなく、休日は各地を訪れ、色々な文化を体験することができました。また、大学では演劇部に入り、仲間と一緒に舞台を作り上げる経験をしました。

氏名 ホワン ツーハン
出身 台湾

この一年は本当に楽しく過ごせて、さまざまな知識を学ぶことができました！！

氏名 LIAO KAI CHING
出身 台湾

この一年で、来る前には想像できなかったたくさんの素晴らしい経験を積むことができました。それによって、生きかたも変わり、空想主義ではなくなり、自由な時間の中で、自分のペースに合った意味のある、楽しいことを選ぶようになりました。その中のおかげで、この留学には後悔がありません。それぞれの人間とは違っても、それ以上に大切なものを得ることができました！

氏名 リン シャウ サン
出身 台湾

桜木みたいな思い出を持って、この再開のためにがんばるわー！
またね 台ー！

氏名 チンセンセン
出身 台湾

この一年間の留学は、本当に一生忘れられない思い出です！
一生の友達に出会い、一緒に授業を受けたり遊んだりして、たくさんの楽しい時間を過ごしました。
自分の視野もさらに広がりました！

氏名 CHOU MING CHIAN
出身 TAIWAN

今日まで
本当にありがとうございました。
なるべく楽しい時間は
あっという間です。
李佳

氏名 イ ヨンジュン
出身 韓国

もともと1学期だけの留学でしたが、途中で1年間に延長してしまうほど、とても楽しく幸せな時間でした！
みんなありがとうございました！

氏名 ヴィ ゴック ミー グエン
出身 ベトナム

1年間の留学は、多くの経験と驚嘆的な成長できる機会を与えてくれました。
この場所の皆さんには本当に感謝しています。
近い将来、また日本に来て勉強を続けます。

氏名 NGUYEN THI YEN NHI
出身 ベトナム

ここにいられて、本当に幸せでした。
みなさんの温かさをたくさん感じました。
人生で一番すてきな思い出です。

氏名 王子鵬
出身 中国

挑戦をやめなければ、世界はどんどん広がっていく。
これからも、恐れずに前へ進み続けたいと思う。
与君共勉

氏名 ジャン ジーユー
出身 台湾

ずっと日本が好きで、日本に来て、一年に生活するのは、夢みたいです。
この一年間、とても楽しかったです。
ありがとうございました。

氏名 カン セイカン
出身 台湾

大教大のおかげで、楽しい思い出たくさんできたよ！
この一年ほんまに楽しかったよー!!
ありがとう

日本語・日本文化研修留学生（前期修了）

氏名 ウェン ツイ チェン
出身 香港

ここに来たから、たくさん友達できた。とても楽しかったです。先生達も優しく、私たちにいろいろ教えてくれました。心から感謝の気持ちが溢れるようになりました。
充実な一年だと思います。
ありがとうございました。

氏名 Charles Insall
出身 Canada

七転び八起き

氏名 アントニオス・ビクター
出身 ブラジル

大阪教育大学の先生方のおかげで、夢を叶え、限界を超え、活かせました。
心から。
感謝～

氏名 ボイコ ヴェロニカ
出身 ウクライナ

新しい経験へ
素敵な一年間になりますように！

氏名 グリゴレンコ マリア
出身 ウクライナ

Even though I was afraid at the beginning, it turned out to be one of the best years in my life!
I made amazing friends

氏名 ジェゼラシュキッナ・エマ
出身 ポスニア

人生一番♡
♡楽しい
♡1年間
ありがとうございました
♡

氏名 ストヤノヴァ・ドゥンナ
出身 ブルガリア

TOBA HE БЕШЕ
ПРОСТО ЕДНА ЗОМБИНА,
БЕШЕ ЦЯЛА ЕДНА
ИНИБОТ.

氏名 グエン ヨン マイ
出身 ベトナム

この一年間、多くの人と出会い、貴重な友達を築くことができました。この思い出は一生の宝です。
心から本当にありがとうございました。

氏名 アクディベコワ メ・リム
出身 ネルギス

素敵な仲間たちと出会い、充実した留学生活を過ごせました。

氏名 ラビルド ソフィ
出身 フランス

この一年は想像を超えました。
出会い、発見、遊び、日本語能力…全ての場面にとても幸せでした。

教員研修留学生
（後期修了）

氏名 ジョン ヒョジン
出身 韓国

たのしいたび、
深い学び、
いい出会いがある
留学生活でした。
すべて大阪大の皆さんのおかげです。
ありがとうございました。

氏名 SHARMA SHIVANGI
ジャルマ ダヌシュリ
出身 INDIA
インド

Autumn brought lovely evergreen hue
Winter made the dreams come true
Summer had its own avenue,
Spring was magical making things anew
With Love
ジャルマ
(ダヌシュリ)

氏名 ミシュラ シヴァンギ
MISHRA SHIVANGI
出身 インド

My stay in OKU is one of the most wonderful memories of my life. Everyday in the university was full of learning laughter and meaningful experiences. Living and learning in Japan has changed me in a positive way, and I will always cherish the friendships and experiences I gained. OKU will forever remain in my heart. Thank you

氏名 Esthi
出身 Indonesia

No other words than
"THANK YOU!"
for giving us many opportunities
to experience both student
and teacher life in Japan.
It's been a great ride!

氏名 シティ
出身 マレーシア

大阪大での留学期間、充実していて、楽しかった。先生方のおかげで、日本語がどんどんうまくなりました。
そして、GLC スタッフさんのおかげで、毎日も楽しかりました。最後に、ここで出会ったみんな、友達になってくれて、ありがとうございます。幸せが一杯です。 シティより♥

氏名 グラール ホハムラ
出身 クウェート

It was a time I
will never forget.
たのしい思い出

氏名 AKOSUA AFRAMMEA OKYERE
出身 GHANA

ENJOY THE BEAUTIFUL SCENERY OF OKU, THE MOUNTAINS, THE RUSTLING OF THE TREES AND THE PEACEFUL QUIETNESS. THIS BRINGS STILLNESS TO YOU. MAKE EVERY MOMENT COUNT

氏名 Treazer Limpange
出身 Malawi

I really had a good time and enjoyed my stay at OKU. The loving and caring teachers and staff made my studies & stay easier. The natural and peaceful atmosphere made me feel at home. Okyu is so beautiful during fall. Please take alot of pictures

氏名 ジネブ
出身 モロッコ

OKUでの経験は、忘れられない大切なものでした。
皆さん、本当にありがとうございます。
この場所のすべてが、これから恋しくなります。
GLC と OKU、ほんまにありがとう。

特別聴講学生
（後期修了）

氏名 ペム・ソヴォン
出身 韓国

氏名 ユ・ヘジ
出身 韓国

大阪教育大学
最高のサークル!!
ローンテニス
部員みんなに、いいことばかり起こりますように。

氏名 ユン セラ
出身 韓国

氏名 リン・センヨ
出身 台湾

半年間という短い時間でしたが、毎日が楽しく、良い思い出になりました。
来て本当に良かったです！
ありがとうございました！

氏名 ツァイ ペイリーン
出身 台湾

留学期間にいろいろな思い出をつくりました！
ありがとうございました！

氏名 リンユンティ
出身 台湾

半年は長い時間とはいえないが、その間にいろいろな体験ができ、たくさんのところに旅行して、珍しい経験ができてとても嬉しかった！

氏名 ウィンチョンロン
出身 タイワン

大阪教育大学での生活はとても楽しかったです。
この時で出会ったみんなと過ごした思い出もっと嬉しく思います。

グローバルセンターニュース&More!

第16回グローバルセンター国際シンポジウムを開催

12月17日に第16回グローバルセンター国際シンポジウムが開催されました。今年は「言語的・文化的に多様な子どもの教育に対応できる教員の養成：フィンランド、ドイツの事例から」と題して、本学の副専攻「外国にルーツのある子どもの教育」プログラムと共催でフィンランドとドイツからゲストスピーカーをお招きし、ヨーロッパの先進的な事例について講演していただきました。まず、協定大学でもあるフィンランドのオーボ・アカデミー大学のDr. Haiqin Liu氏に、言語的・文化的に多様な子どもに対応できる教員の養成について講演していただき、日本の教員養成を考える上での示唆を得ました。次に、移民を多く受け入れてきたドイツのノルトライン＝ヴェストファーレン州にあるビーレフェルト大学から、Dr. Renate Schüssler氏と Nadine Auner氏が実践しているプログラムについてオンラインで講演いただくことで、多文化社会における教員養成大学の役割と可能性について考える手がかりとなりました。シンポジウムには94人（学生78人、教職員16人）が参加し、学生からは「多文化社会で教育者となる人材をどう育成していくのか、教員養成の視点から学ぶことができた」「国際化は特別な学生のためではなく、未来の学校を支える教師全体に不可欠な基盤だと感じた」などの感想が寄せられました。

Dr. Haiqin Liu氏の講演

シンポジウム登壇者との記念撮影

Visitors from the USA

In 2025, Osaka Kyoiku University (OKU) received visits from its two partner schools in the United States, Western Carolina University (WCU) and the University of North Carolina Wilmington (UNCW). We have a longstanding partnership with both schools including a history of collaboration and student exchange programs. Western Carolina University visited our Kashiwara campus on May 26th. Their Japanese professor, Dr. Ono and graduate advisor Lex Ingram brought 15 students from WCU to OKU. Lex had studied for one year as an exchange student at OKU so she was able to share her knowledge of the university with the students. The students toured our campus, ate in our dining hall, took part in English classes, communicating with our students, and partook in a Japanese cultural exchange with Global Kashiba, a community group that shares Japanese culture and language with our study abroad students.

UNCW visited OKU from June 9th to June 12th. On the first day, they toured the Kashiwara campus. Ota Sensei and his students in the kendo club taught our students the philosophy and techniques of kendo. On the second and fourth days, the students visited the attached preschool, elementary, middle, and high schools in Hirano, learning about the differences in Japanese and American education. On the third day, they visited Katashimo Elementary School. They ate school lunch in the classroom and taught the students English lessons.

WCU and OKU students in English class

UNCW students learning Kendo from OKU students

留学生支援のお願い

留学生後援会では修学支援奨学金の給付による留学生支援を行っております。ご賛同くださる皆さまは、下記によりご支援下さい。
留学生支援のためのご寄附についても、税法上の優遇措置の適用を受けることができることとなりましたので、この機会にぜひご検討下さい。

寄附・納入方法

学内教職員

●一口500円/月、給与から天引き

学外支援者

●振込…任意の金額を下記宛てにお振込下さい

三菱UFJ銀行　藤井寺支店

普通預金　口座番号：5210211
名義：大阪教育大学留学生後援会（オオサカキョウイクダイガクリュウガクセイコウエンカイ）

●現金納入

連 絡 先／大阪教育大学留学生後援会　TEL：072-978-3300　E-mail：ryugaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

OVER the RAINBOW vol.35
年1回発行　第35号　2026（令和8）年2月6日（金）発行
編集・発行／大阪教育大学グローバルセンター
〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4丁目698番1　https://ger.osaka-kyoiku.ac.jp/
連絡先／TEL:072-978-3299/3300　FAX:072-978-3554
E-mail:isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp